

2010年(平成22年)10月26日 火曜日

無洗米PRへ英訳パンフ

COP10開催機に

ハナノキ

外国人向け
情報発信
将来的な輸出視野

米穀精米卸のハナノキ(本社北名古屋市井瀬木井の元36、山内正道社長、電話0568・22・3711)は、無洗米の販売促進を強化する。COP10開催を契機に、27、30日開催の「メッセナゴヤ2010」で、無洗米がエコに優しい点などをアピールするほか、無洗玄米「健美玄米」の英訳パンフレットを初めて作成し、外国人来場者に向け、情報発信する。

(北名古屋・倉科信吾)

工場では無洗米を製造(川や海に流れると、汚す際に使う水の量は、家庭で米を洗う時、米の製造工程では、取水の使用量に比べて50%削減できる。乾燥された状態で、専用袋に詰め、河川業者によって、ダイ

コンやキノコの肥料、家庭の飼料として再利用される。さらに、無洗米の加工に薬品や添加物を使用せず、家庭で洗う際に米をとぐ時間も省ける。

「このほか、無洗米では、米を洗う時に流れる米重量約5%相当のぬかがない分、ご飯の量が増えるのに加え、米を洗う際の水道代も節約できる。」

「これら無洗米のメリットを「無洗米は地球

・人・お財布にやさしい」としてPRする。

また、将来的には輸出も視野に入れ、初めて英訳パンフを配布するとともに、英語と中国語の各通訳者をメッセ会場内に設置する。

日本食ブームや健康志向が海外の先進国で浸透する中、通常の炊飯器を使って白米と同じ方法で手軽にたける「健美玄米」を外国人に知ってもらい、「無洗米と玄米の市場性を見極めたい」(池山健次会長)考えた。



無洗玄米「健美玄米」(一袋)

次会長)考えた。